

カイギシヨ ゲツポウ

2023

Geppou 12

VOL.918

清酒 敷 嶋
清酒 敷 嶋

半田商工会議所
公式LINE



友だち登録は
こちらから

創立130周年記念正副会頭座談会 後編
ご存じですか?事業承継マッチング支援



半田商工会議所

◆年に二度の特別限定酒

しぼりたての生原酒を 蔵元から直送します!!



愛知県の酒造好適米【若水】の新米を使用し丹精に仕込んだ純米吟醸酒を濾過・割水・火入れ殺菌を二重せず搾りたてのままビン詰めします。搾りたての生原酒ならではのコクある味わいとフレッシュでふくらみのある香りをお楽しみいただけるよう、宅配便にて蔵元から指定日に直送します。新しい年の幕開けにふさわしいおめでたいお酒で、輝かしい新年を迎えられてはいかがでしょうか。



Kuni Zakari

中埜酒造株式会社

☎ (0569) 23-1231

https://www.nakanoshuzou.jp/

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。適量飲酒を心がけましょう。

摘みたての幸せ、季節のフルーツ、フレッシュないちごが60分食べ放題!

甘くてみずみずしい!

いちご狩り

いちご狩り料金表

60分食べ放題

要予約

いちご狩り料金表	OPEN~ 4月10日	4月11日~ 5月8日	5月9日~ CLOSE
大人 (中学生以上)	2,000円	1,500円	1,200円
小学生	1,500円	1,000円	700円
幼児 (3歳以上)	1,200円	800円	600円

いちごの
直売も
やってます

駐車場
100台完備
大型バスも
停められます

きれいな
トイレ
バリアフリー
冬場に嬉しいヒーター付き
おむつ交換台あり

いちのいちごの あま〜い隠れ家

いちご狩りを
もっと楽しめる
ヒミツのアイテム
販売中!

自分で採った果実を
その場で楽しめる!
クレープセット
いちご狩りシーズン限定販売中!



入り口すぐそこ

市野園芸

営業時間/9:00~16:00(最終受付15:00)
愛知県半田市田代町 156-1

要予約 ご予約は電話・HPより承ります!

☎ 0569-27-7586

https://www.ichino-15.com



表紙……地元企業で働くアナタ。伝統を紡ぐアナタ。夢に向かって歩むアナタ。夢叶えてイキイキ働くアナタ……半田で笑顔で輝いている方をご紹介します。

伊東株式会社 伊東 優さん

2021年・天明8年(1788年)創業の酒造メーカーの九代目として名酒『敷嶋』を復活させ、身近にある定番の美味しい酒を魂を込め造っている。年内を目標に、旧蔵を活かしたレストラン、カフェバー、販売店舗の開店を計画しており、様々な仕掛けで地域を盛り上げようとしている。



新しい10年、20年に向け 時代の変化を機敏に捉える

小柳 産業振興について触れていきます。コロナ禍以前は長く「安定と停滞」がキーワードとして続いてきました。コロナ禍によって経営の根幹を見直すことが進み、ビヨンドコロナのこれから、「変動と淘汰」に対応していくことが求められてきます。そこに自社の存在価値を高めていく「自己変革」がキーワードになります。商工会議所の経営支援もこれまでの「課題対応型」から経営そのものを問う「課題設定型」の伴走支援に取り組んでいきます。個々の経営支援と併せ、頑張る経営者の環境づくりも後押しし、半田市と共に議論していきます。

久世市長のもとで昨年7月にスタートした半田市産業振興会議については、前会頭の榊原康弘顧問を委員長として松石会頭を始め商業、工業、農業の各分野の方々が委員を務めて、半田市の産業分野における振興策の道筋を具体的に描きながら「事業者を元気に」というコンセプトを踏まえて、商工会議所が見据えている雇用創出につなげていきたいと考えています。

社会構造の変化という普遍的な課題を抱えていく中で、将来にわたる半田市の発展と直結する産業分野の役割、使命などを見据えてどのような想いを持たれているのか、最近の振興会議の動きと合わせながらご意見を聞かせてください。

松石 企業経営者は、短期的・長期的な将来を見据えて事業計画を立てます。例えば、日本は人口減少と人口構造の変化、少子高齢化の課題を抱えています。働く世代の人口が減少してくる中で、半田市が将来どのような人口動態・構成となるか、明確に推計していく必要があります。このまま放っておけば半田市も間違いなく他市町と同じように人口は減少し、働く場所、人、雇用の機会が少なくなります。地域をしっかり支えるためにはどうしたら良いか？半田市を始めとする知多半島全体の大きなビジョンを描いていく必要性を最優先に考えるべきと感じています。今、近隣市町でも人口が減少し、水道代を値上げしなければいけないというような話が出てきています。今まで同様にインフラを支えようと思えば、一人当たりの負担が増えていきます。人口減少が一番大きな課題だと思います。雇用を支えるための産業を、いかに維持・成長させていくか。取り組みを加速させていかねばならないと考えています。

中埜 言葉が適切かどうか分かりませんが、産業振興は転換期にあるように思います。昨年榊原会頭から松石会頭が変わったことも大きな転換期で、時期はずれますが、半田市長も20年ぶりに民間出身者になりました。産業振興も中心市街地活性化も、明確に今までとは違うトーンで市長が声を発しています。我々も新しい方向に取り組んでいかなければいけないと思っています。商工会議所と行政を両輪とすると、機関車が新しくなったので新しいやり方を画期的に進めていって欲しいと思っています。

小柳 たまたまそのような転換期とも言えるタイミングがここ数年の中で生じているので、理解を合いやっていくチャンスかもしれませぬ。

水野 産業振興は深くて大きな課題ですが半田は歴史も文化もあり産業も江戸時代から発展してきた古いまちなので、醸造、輸送関連、海運などの基幹産業がしっかりと発展していくということが地域力のバロメーターになるのではないかと思います。その足腰が強くなるというのは、それが外に向けて事業を展開して人とお金を呼び込んでいく原動力になっていきます。それとプラスして、一次産業を強くする必然性を感じます。半田は酪農が盛んな地域ですので、酪農を含めた農業を発展させていくことは半田にとって重要です。

そのために産官学金の連携の下にどうビジョンを描くか、それぞれの役割をしっかりと果たしていくことです。産業振興は産業界だけでやることは出来ないし、行政だけでやろうとしても上手くいきません。そこに地元金融機関がしっかり支え発展させていくことが必要で、歴史上ずっとそうだったと思うんですね。循環型の社会をどう作っていくかというようなことが産業振興会議で語られていくといいなと思います。同時に産業誘致をしっかりと行っていくことも重要な要素になってきます。

小柳 基幹産業、根幹を維持しながら、民間だけでなく行政、研究機関や金融機関など、オール半田でしっかり作っていくのが、これからの姿なのでしょうね。

間瀬 産業振興会議で様々なことが語られていると思いますが、その通りに行くかという課題も多いですね。そこに従事する方がたくさん集まってきて、その中で好循環が生まれれば収益が出てくると考えますので、水野副会頭の言われた金融機関も入れての好循環も大事ですし、そこを担うのが商工会議所で、それをしないと地域は発展しないと私は思っています。

小柳 産業だけではなくて、市場があり、人がいる、という関係が成り立って、初めて好循環を作っていくことができます。その中で、商工会議所も仕掛けることができる一つの存在という認識でいます。半田市全般の産業振興を様々な角度から捉えていくことも大事ですが、その中にあって中心市街地に目を向けていくということが喫緊課題の一つと捉えています。JR武豊線の高架化が進み、計画では、2027年度(令和9年度)に工事が完了していきます。まちの変化を見据え、半田市は昨年12月より、中心市街地の活性化、六次産業化を通じた農業者支援として民間人材を任用しました。商工会議所を始め、各ステークホルダーと連携を図り、半田らしさのあるまちづくりを進めていこうと動き始めています。商工会議所は事業者側の立場を念頭に活性化を推進していきますが、中心市街地の将来像、具体的な取り組みについてご意見をいただけますか。

松石 非常に難しい所があり、一つだけの局面で見れば中心市街地をどういうまちにして、どうしていくかという議論がなされます。まちをトータルで見た時に中心市街地の役割はどうすべきか？コンパクトシティといわれますが、例えばマンション、病院、スーパーがあり、半径何百メートルでコトが済んでしまうまちを半田の玄関口として目指していくのか？逆に外からの消費流入を含めて大勢の人たちがそこに集まり、ショッピングとか飲食ができるなど、どのようなまちのカラーにしていくのかを、しっかり皆でコンセンサスを取りながら作っていくことが必要です。活性化するから、コンパクトシティだから、というだけでなく、まち全体のトータルビジョンを考えた上で中心市街地はこういうまちにしましょうとしていくことが第一です。JRが高架になることは非常に良いことですが、名鉄の高架化に対しての動きは少し沈静化している



産官学金の連携
一次産業の強化は半田にとって重要

広域連携による
人と人とのつながりは
地域の元気さにつながる

ので、新病院の建設も含めて名鉄の高架にも我々が先頭を切って取り組んでいき、まち全体の交通インフラ整備を考えた上で、中心市街地という捉え方をぜひしたいと思っています。

中埜 中心市街地活性化については、やり方や方法論、これからやろうとしていることの議論はあるでしょうが、久世市長が中心市街地活性化を明確にされたことは高く評価すべきだと思います。昔の名鉄知多半田駅前の華やかな状況を知っている人から見ると、何とかならないかとずっと思ってきています。名鉄知多半田駅前の活性化は半田市民の悲願のようなものです。

商工会議所としては全面的に支援して何とか成功に導いていかなければならないと思います。市域で亀崎、青山地区等がある中、なぜ名鉄知多半田駅前なんだという意見が出るかもしれませんが、まずは名鉄知多半田駅から手掛けという明確な市長としての判断なので、商工会議所はそれをちゃんと受け止め、協力したいと思います。

水野 昭和の頃は地価が年々上がっていくような土地神話があり経済が勝手に発展していきました。そんな時代背景の中で、計画がそのまま実行されたのが名鉄知多半田駅前だったと感じています。当時は計画通りに進めて終わらせることが最大の目的だったので、どんなまちにしたいのかという想いを地域住民と行政と一緒に共有ができず、時間と施工だけが進んでいったのですね。これからまちが歴史を作り始めるという風に前向きに考えていけば、昭和の頃の中心市街地駅前は過去のことであって、令和の今、行政が半田市中心市街地活性化推進方針を策定してくれたので、そこに住む人たちが住みやすい、商売がしやすい中心市街地にするにはどうするかということを会議所もチャレンジし続けていくことだと思います。

それが急に出来るわけではないと思いますので、20年、30年しっかり腰を据えて、行政と手を取り合ってやっていくしか方法はないと思います。時には見直しがあるかもしれませんが、それは絶対に必要なことだと思います。そうでないと、何のためにやっているのか、誰のためにやっているのか分からなくなってしまう。あとは途中で投げ出さないことです(笑)。



小柳 間瀬副会頭は金融機関という立場で店舗も中心市街地に立地していますが、その点はいかがでしょうか。

間瀬 一つのものをやり遂げるには、完成形があってそれに対して思い立ってやっていくのではなく、明確な将来のビジョンに向かってスピード感を持ち、同時に様々な課題に取り組んでいかなければと事業は完成しないと思っています。これは半田市のメイン事業なので我々も努力をして応援していく形が良いかと思っています。

小柳 商工会議所の関わり方も、より内面に入っていきながらと想定しています。今は準備をしっかりとっていく必要があると考えています。

松石 形を作るだけではなく、我々が考えなければいけないのは、実を結ぶ中心市街地にしなければならないということです。水野副会頭が言われたように、そこに来た商売人が儲かるか、住民が住み良さを抱くか、実がある形で実現できる中心市街地を行政と一緒に作っていくために、我々も絶対失敗しないよう努めていくことが大事な点だと思います。形ができればそれでいいというだけでは済まないですね。

水野 人がそこに寄らないと意味がないですからね。



明確に打ち出された中心市街地活性化
全面的な支援で成功へ導く

商工会議所・青年部・女性会の連携で、
商工会議所全体を盛り上げる



小柳 まちの変化に合わせ、改めて中心市街地活性化に踏み込んでいきます。商工会議所としてもしっかりそこに歩調を合わせていきたいと考えています。商工会議所も社会一般と同様、持続可能な社会を目指す中で、2030年・2050年を目標に見据えた将来に向け、動き出している段階です。

知多半島地域全体の経済的発展を目指して商工会議所の発足に奔走した明治期の半田の実業家たちの志を受け継ぎ、先人たちの努力によって130年の歴史を刻み続けているのが半田商工会議所です。今を担う正副会頭の皆さんは、その志をしっかり受けとめ、責務を背負い、更には不断の努力を続けておられます。これから歩み出す140年・150年に向けての想いを聞かせてください。

中埜 130周年だからということではありませんが、今の半田商工会議所のテーマとして是非やらなければいけない、やりたいなと思っているのは、コロナ禍以前から課題であった他の商工会議所との連携です。様々な連携がありますが、商工会議所として地域性を踏まえた商工会議所・商工会との連携を進めていくことがこれからの重要な方策になっていくのかなと思います。

水野 半田市内だけの経済を見ているのではなくて知多半島の中での半田、もしくは名古屋から見た半田、という視点も鑑みながら、半田の経済活性化等を図っていくことが大切だと思っています。少なくとも知多半島の中では、半田はリーダー的な役割を果たしていかなければいけないし、商工会議所もリーダーシップを取るだけの改革をしていかなければいけない。今日よりも明日を良くしていく、結果を出していく商工会議所でなければならないと思います。過去に感謝をしながら、自信を持って次代にバトンを渡していけるような商工会議所にしていければと思っています。

間瀬 連携は大事で情報交換をしなければ進歩はありません。他所の良い所を吸収しながら、自分たちの良い所も発信しながら互いに伸ばしていくことが大事だと思います。半田商工会議所本体と、青年部、女性会が一体となりつつある状況で、この連携を強めて情報交換をしながら、半田商工会議所を盛り上げていけば、きっと良い方向に向かうと私は思っています。

松石 半島という特色がある中で、知多地域経済会議として知多の経済界が結びつくという土壌と、5市3町の衣浦港振興会

として港域による連携があります。半田はその中心点にあります。半田のことだけでなく、広域の経済圏の発展を半田が中心となって考え、担っていくことは非常に重要な使命です。

我々が思っている以上に、他市町の商工会議所や商工会からの半田に対する期待感が高いものがあります。副会頭の皆さんの力をお借りしながら、半田商工会議所が真にこの地域を引っ張っていけるか、力をいかに発揮できるかは、この地域の発展にとって大事なことと思っています。更に、我々がもっと進めなければならないのは、広域連携という中での人と人とのつながりです。実に多くの様々な方とお会いする中で、自身が『井の中の蛙』だったという気持ちを抱えており、人のつながりは地域の元気さにつながると感じています。

我々がそのようなチャンスを会員の皆さんに向けて作っていくことが大事です。そこから何か新しいものが生まれてくる、そんなことを思っています。是非アクティブに、商工会議所活動を産官学の連携で実現したいと思っています。そして、農業分野も関係性を深め、“農商工会議所”となれるくらい連携の輪を広げていくことは非常に大事だと思っています。

小柳 半田が持つ強みの一つは農業分野、特に畜産関係です。この強みもしっかり活かした産業分野の連携もあるかと思っています。広域というキーワードでは、半島、港湾という背景があり、更に引き伸ばしていくことが大事だと思っています。コロナ禍が明け、再始動していく中で、改めて原点に立ち返りながら進めていくべきではないか、正副会頭の全般的な意見だと受け止めています。新しい10年、20年に向け、挙げられたキーワードを大事にしながら進めていくことで、地域のリーダーシップをしっかり取っていく商工会議所として、会員の皆さまの力もお借りしたいと思います。

松石 歴代の会頭諸氏が創り上げていらっしゃる130年という長い歴史の時間経過と、これからの130年はスピード感が全く異なり、積み重ねてきた歴史がもしかしたら13年で動いてしまふかもしれないくらいに時代の変化が速くなるような気がします。今言われている空飛ぶタクシーが許認可さえ下りれば飛んでいくよ、とか。かつて携帯電話はスパイ映画しか出てきませんでしたが、今では誰もが使う時代になってきています。この先の10年、20年はすごいスピード感を持って変わっていくでしょう。その変化を機敏に捉えていくまち、商工会議所でなければならないと思います。会員事業所をはじめ、議員・役員皆様のご協力をよろしくお願いします。



聞き手/専務理事 小柳 厚



伊勢湾を眺望できる 豊かな自然を生かした18ホール

一般社団法人

新南愛知カントリークラブ美浜コース

株式会社 新南愛知

〒470-3235 愛知県知多郡美浜町大字野間字内扇4-3 TEL(0569)88-5522 (代表)
FAX(0569)87-3232 / TEL(0569)87-5911 (予約)



地域密着のケーブルテレビCACにお任せください!

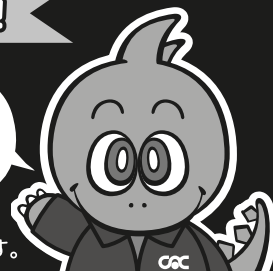
CAC-LIFE テレビ・光ネット・電話の
おトクなセット

(税込5,060円)※

月額4,600円〜

※LIFE 初期割適用時の金額です。

法人・店舗向けの
相談も承ります!



株式会社 CAC TEL: 0569-21-0070

ケーブルテレビ CAC 検索



テクノロジー・エクセレントカンパニーを目指して

NIPPON STEEL | 日鉄精圧品株式会社

精密冷間鍛造品

自動車部品

本社・工場
東京支店
米国拠点
タイ拠点
URL

〒475-0033 愛知県半田市日東町1番地
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-11
Indiana Precision Forge, L.L.C.
Thai Precision Products Co., Ltd.
<https://www.nspf.nipponsteel.com/>

TEL0569(22)1811(代)
日本橋ビル4階

世界が進むチカラになる。



三菱UFJ銀行

知多半田駅前



美味しい楽しさ、学んで発見!

クラシティ



CLΛCITY

美味しい楽しい時間

10:00~22:00 定休日: 第4水曜日 〒475-0857 半田市広小路町 155番地の3
(一部飲食店は23:00迄営業しております) ☎0569-47-8480



クラシティ

タクシーのご用命は **安全 安心** **名鉄知多タクシー株式会社**

0569-37-1112

知多娘。with 名鉄知多タクシー **manaca**をはじめとする交通系電子マネーがご利用いただけます。

未経験者大歓迎 全車カーナビ付 **乗務員募集中 ☎0569-21-2780 (平日)**

電気工事材料 総合卸売業

初山電機株式会社

くらしに光を!!
明るくあしたのために!!

〒475-0876 半田市東天王町1-17
(TEL) 0569-21-1516
(FAX) 0569-23-0170
E-mail : momi-den@mist.ocn.ne.jp

あした が すてきに!

TOHO GAS

くらしのアレコレ、東邦ガス Q

お客さまから愛され、信頼される金融機関をめざします

岡崎信用金庫 半田支店
半田市柊町1丁目210番地の13 TEL (0569) 23-6911

金融支援 経営支援 で **地域事業者のみなさまをサポート!**

資金繰りのこと・経営のことなど
お気軽にご相談ください!



相談は無料です!



0120-454-754



AICHI GUARANTEE
愛知県信用保証協会





会員訪問NO.489

酒屋とソース作りでバランスよく 豊田屋酒店

今回、昔ながらの町の酒屋、昭和2年創業の豊田屋酒店に伺った。人との関わりをご縁に商いを続けまもなく100周年を迎えようとしている。

野間にある酒屋の三男坊の清吉氏が人の往来が多い半田でお店を構えたのが始まりである。当時、当店は病院に行く人や小僧さんの立ち寄り場として人の出入りがよくあり賑わっていたそうである。戦後の混乱期、酒屋として続けられなくなるかと思い酒の代わりになるものと考えたのがソース作りであった。当時、調味料不足であったのだが、近所で取れる野菜や美浜の塩等が調達できたことから知人に教えてもらいながらソース作りを始めた。それ以来、酒屋とソース作りの豊田屋食品製造所の二本柱として生業をしている。

2代目の克己氏が更に美味しさを追求し試行錯誤を続けたことで塩辛さ、酸っぱさ、香りと申し分ないソースを作り上げた。そのソースは、初代の名を使って「清吉つあんの手造りソース」として売り出された。特に焼きそばに合うと言う。タマネギやトマトなどの野菜を煮て、塩や砂糖などを加えてアクを丁寧に取り除く。カラメルで色を付け、酢と香辛料を入れて後は味が落ち着くまで寝かせる。2年前から長男の誠氏も加わり家族3人でソースの仕込み

をしている。大きな釜を前に蒸気がモクモク。匂いも漂いまさに手作りである。ソースの基本はそのままに、商品ラインアップを広げている。ソース作りを継承したいと勤めをやめ婿入りした3代目の芳彦氏や長男の誠氏と代々、味を守り続けている。お客様へ丹精込めて作ることをモットーにしている。



その味を味わった人も多いはずである。学校給食にもソースを卸しているので馴染みのある味である。そんな味を懐かしんで店頭で買い求めるお客様もみえる。また、同業の酒屋仲間での販売ルートや観光施設等にも置く他、ネット通販で購入も可能。「ラベル」もオリジナルなものへ変更できるため、贈答品としても使用できる。

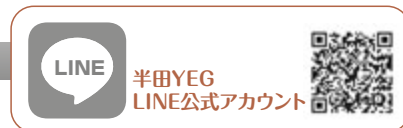
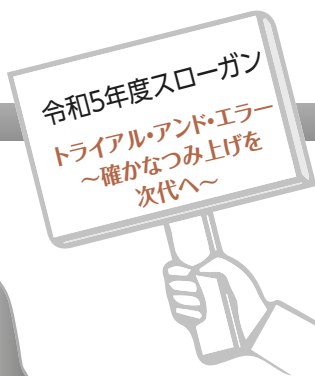
昭和49年に中町から現在地に移って半世紀が経とうとしている。表通りから1本中に入った通りに店舗とソース工場がある。長年、地域の活動に協力的であり頼りになる存在であった克己氏は民生委員や当所小規模企業振興委員を務め、克己氏の娘であり、芳彦氏の奥様である浩子氏も半田小売酒販組合の理事やガールスカウトではリーダーを務め信頼を得ている。

今後、今の形を残しつつ何かできるといいねと浩子氏は話す。休業中の誠氏も仕入れ先等に同行しながら関係性を築き始めている。酒屋とソース作りがバランスよく合わさり、今後の展開が楽しみである。

(取材:中村真由美)



【住所】半田市港本町3-111 【代表】榊原芳彦
【創業】昭和2年 【営業時間】8:00~20:00
【TEL】21-0423 【定休日】日曜日



第36回東海ブロック大会豊橋大会



『BEYOND THE STORY』 次代へと紡ぐ軌跡 誰(た)がために鐘は鳴る



9月30日、青年部メンバー41名で豊橋の地へ行って参りました。この日は東海ブロックエリアの商工会議所青年部39単会が豊橋に集結。

豊橋YEG様に設営いただいた記念式典からはじまり、その後魅力ある10分科会へ分かれ、お笑い芸人ライブや、温泉巡り、豊橋市の散策など青年部メンバーがそれぞれ交流を深めながら分科会を堪能する事ができました。

当日は大会のLINE公式アカウントを活用しながら随時案内をいただけるなど、時代に合わせた設えは大変参考になりました。

迎えいただき、東海ブロック大会会長率いる迫力のあるバンドで開会されました。様々な演出もありながら、最後にはスペシャルゲストのDJKOO氏と青年部が皆で一体となり、大いに盛り上がりフィナーレを迎えました。半田のメンバーもしっかりと楽しみ、吸収し、学ばせていただきました。

大懇親会では、豊橋ならではの手筒花火でお出

手筒花火でお出迎えいただきました

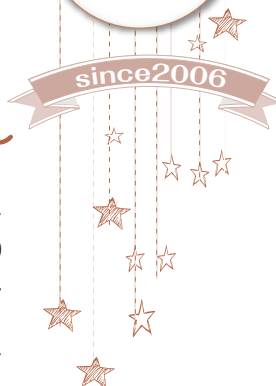


次年度は半田商工会議所青年部60周年を迎えます。この東海ブロック大会豊橋大会で得たものを、今後の青年部活動にもしっかりと参考にさせていただきながら事業や式典など、更なる資質向上に繋げていきます。

■60周年準備プロジェクト プロジェクト長 山本八穂((株)山本楽器)■



スローガン 今、シナジーを！～得意を活かし合って、多様な豊かさを生み出そう～



～知多木綿を使った、給食ナフキン染め。～

地域のこどもたちの健やかな育ちを応援する、こどもみらい応援事業（2030みらいサポート委員会の取り組み）の一環で、こどもワークショップを行いました。こども支援に取り組む2030みらいサポート委員会と、学びと交流を事業軸におく研修交流委員会とが、ゆるやかに協働した共催事業です。

ワークショップの会場は、『ならわ三区のこども食堂 サンクテーブル』。わたしたち女性会がフードドライブなどを通じて支援を続ける、現在11拠点ある半田市内のこども食堂の1つです。ワークショップと並行して、こども食堂の調理を女性会メンバーも担当。調理室ではベテラン主婦のメンバーたちが大活躍しました。会場準備、調理、こどもの受け入れ、ワークショップ、お昼ごはん、会場撤収や片付け、終了後のスタッフの団欒という一連の流れを通じて、こども食堂がどんな風に運営されているかを知る機会にもなりました。



メンバーも生地の手折り方を学びます



色とりどりのナフキン

ワークショップの講師は、女性会メンバーの小椋恵子さん。はんだ木綿蔵を主宰する木綿染めのスペシャリストです。どんな生地をどんな風に染めたら、こどもたちが喜んでくれる1枚になるか、小椋さんが何枚も試作をしてくれて当日を迎えました。加えて、小椋さんから手順のレクチャーを受けたメンバーたちが、こどもの染めの工程をしっかりと

サポート。参加した25名の地元花園小学校のこどもたちは、おもいおもいの色柄に知多木綿を染め上げ、ステキなオリジナル給食ナフキンが完成しました。

「こどもの染めはうれしいんだよ。自由にさせてみればいいから」と小椋さんがおっしゃっていたとおり、なんと形容しがたい、キラキラと生命力に満ちあふれた作品に、キュンとなったわたしたち。「やってよかったね」という同じ想いがこみ上げます。

このこどもワークショップの発端は、女性会の黎明期に会をあげて取り組んだ知多木綿のスカーフ事業。当時の旗艦事業だった知多木綿のスカーフのことを、実は会歴の浅いメンバーはよく知りません。先輩メンバーから折に触れて聞く過去のお話です。せっかくならその手業を生かして、近年取り組むこども事業向けにリバイバルさせたらうれしいねという声があったため、今回の実現に至りました。過去と今をつないで、未来を担うこどもたちが手にとった知多木綿。このワークショップは、女性会の得意を活かしたシナジーの産物だと感じます。

色とりどりに染め上げた木綿がふんわりと風になびく景色と、みんなで一緒に食べた楽しい食卓の記憶が結びつき、参加したこどもたちの心に、ずっとじんわりと沁みゆくような温かな1日となった気がします。想像以上にこども向けコンテンツだったこの手業文化。何かしらの形で承継していけたらいいなと思いました。



調理のお手伝いでも活躍しました

（記事提供：2030みらいサポート委員会）

会議所の動き

事業承継支援

半田市の小規模事業者の事業承継支援で6者連携

当所は日本政策金融公庫熱田支店（日本公庫）、半田市、知多信用金庫、半田信用金庫、愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと後継者不在の小規模事業者の事業承継支援の充実を図るため、10月30日に事業承継支援に関する連携スキームを構築し、当所にて締結式を執り行った。

昨今、経営者の高齢化が進み、廃業予定企業の割合が増加する中、事業承継は喫緊の課題となっている。日本公庫では、後継者不在の小規模事業者と、創業希望者や事業を拡大したい者をつなぐ「事業承継マッチング支援」を全国展開されている。このたび6者が連携することで、後継者不在先で第三者承継を希望する方を広く発掘し、引き合わせから、引き合わせ後の支援に至るまで事業承継支援を行っていく。

締結式で、当所松石会頭は、「今回の6者連携により、半田市内における事業者の事業承継の後押しとなるよう、連携を密に一致団結して支援をしていく。これからも商工会議所の使命である地域経済の発展に繋げていく」と挨拶した。



セミナー

起業家支援セミナー 「創業塾」を開催

独立開業をめざすサラリーマン、OL、主婦、学生、開業間もない起業家（5年以内）などを対象に、講師にオフィス・HANDOの寺田久美氏を迎え「夢に挑戦・めざせ起業家」をキーワードに、半田・常滑商工会議所と、知多半島内商工会が主催となり、3市5町の後援を得て開催した。

◆立志編

起業家の心構えや基礎知識、起業に向けたプランの作成、起業に向けての頭と心の整理、明確な意思づくり等について、自身の起業体験とそのデータを踏まえ、多くの事例を交えた講義があった。

その他にも、信用保証協会の創業者保証制度についての講義、開業資金、労働保険加入の重要性についての講義が行われた。特に、起業に向けて資金調達方法を考えている受講者にとって非常に有意義な情報であり、真剣に聴く様子が見られた。

◆実践編

立志編に続き、3日間合計12時間で開催した。

利益を上げる事やビジネスプラン作成のコツ、経営者として仕事、経営理念・社訓、営業戦略、決算書の見方、目標が決まったら行動、アイデアを出すコツ等の説明があった。まずは自身で考え、考えをアウトプットし、講義で確認をとる流れで進められ、問題点や目標の明確化に役立つものとなった。

最終日午後は、受講者が作成した計画を発表し、起業に向けた心構えや決意を、参加者の前で行い、活気ある事業計画発表となった。



衣浦港振興会

愛知県土整備促進議員連盟 港湾部会に要望を提出

衣浦港振興会は10月12日、愛知県土整備促進議員連盟港湾部会に要望を提出。

要望内容は以下の通り。

- 1.衣浦ポートアイランドへの国際物流ターミナルの整備
- 2.港湾整備、港湾維持管理の予算確保
- 3.衣浦港港湾計画の着実な改訂
- 4.港湾施設緊急回収費の予算確保
- 5.海岸保全施設の耐震化等のハード対策
- 6.陸上交通機能の充実
- 7.港湾行政組織の充実（衣浦港務所の機能拡充）

提出後、愛知県都市・交通局長より衣浦港整備等に対する前向きな回答が得られた。

会長／松石奉之（半田商工会議所 会頭）



マル経創設50周年感謝状贈呈



日本政策金融公庫の融資制度である小規模事業者経営改善資金融資制度（通称：マル経融資）が創設50周年を迎え、10月30日、日本政策金融公庫熱田支店の田中

裕之支店長が当所を訪れ、制度の普及・推進に対する永年の功績を讃える感謝状を松石会頭へ贈呈されました。

※マル経融資とは、商工会議所や商工会などの経営指導を受けている小規模事業者の商工業者が、経営改善に必要な資金を無担保・無保証人でご利用できる制度です。

会員企業工場見学 並びに例会を開催

市内日東町の立地企業で構成する日東会は10月12日、豊田ケミカルエンジニアリング(株)にて会員工場見学会を開催し17名が参加した。

はじめに同社の経営理念「オープンでフェアな企業活動を通じて、地球環境保全、地域社会へ貢献する企業を目指す」が紹介され、会社概要、工場の設備・施設等の説明を受けた。その後、4号償却設備(ベスタ)、HV電池リサイクルプラントなどを見学した。参加者からは、持ち込み廃棄物の内容と処理、ゼロカーボンに向けた取組みについての質問が挙がり、日常業務で役に立つ情報を共有した。

また、例会では半田市から国道247号線の周辺工事の情報提供の他、会のインボイス対応等について協議をした。

代表幹事／堀井清人(株サンビック)



潮干会



工場見学会を開催



10月14日、潮干会10月工場見学会を会員企業である(株)SUBARU航空宇宙カンパニー半田工場を会場に会員10名が参加した。ボーイング787、777、777X工場をそれぞれ同社社員様に案内いただきながら見学した。普段は決して見えない工場内で製造工程などの説明に参加者は熱心に耳を傾けた。

当日は同社として「第4回SUBARU半田ふれあい祭」として一般公開され、商工会議所事業「はんだオープンファクトリー」の参加事業所としても登録されており、多くの家族連れの方で賑わっていた。

代表幹事／竹倉幹雄(半田中央印刷株)

建設部会



地域貢献活動(清掃活動)を実施

10月22日、秋晴れの中、地域貢献活動として清掃活動を実施。はんだ山車まつりを目前に、名鉄知多半田駅からJR半田駅周辺を中心に清掃した。

当日は、子どもの参加者もあり、建設部会員と共に、清掃活動に汗を流してもらった。参加した方からは、山車まつりを前に、まちを綺麗にできたとの声もあり、おもてなしの一助となった。今後も、建設部会としては、各種事業について協議を重ね、部会員を交え実施予定である。

部会長／近藤勝美(株大精工務店)



会員ひろば

着任された方
新規事業、店舗動向など
ご紹介します

「アトリエイリマル」をオープン

ギャラリーイリマル

銀座本町にお店を構える当店は、ギャラリーより南へ約80mの場所にアトリエイリマルを新たにオープン。

アトリエにはグラス、お皿などが焼ける本格的な窯を設け、団体様など大人数のグラス体験やフリースペースとして今後活用していく。

アトリエの詳細はInstagramをご覧ください。



代表／榎原舞子 住所／半田市銀座本町2-36
営業時間／10:00～16:00 定休日／完全予約制のため不定
TEL／58-5800

流通部会



「Instagram講座」を開催

10月17日、24日に集客宣伝「Instagram講座」を開催。17日には基礎講座、24日はリール投稿活用と大きくテーマを変えて、SNSを活用するきっかけづくりを講師である、熊崎恵理氏が熱心に話された。

受講者から、多くの質問やメモをとり、講師の講義に合わせて写真を撮ったり、アップロードするなど、積極的に学ぶ姿勢が見受けられ、内容の濃い講習会になった。



部会長／瀧本 真(株オオサカヤ)

金融部会



部会員交流会を開催

10月24日、Farm@ Clacityにて「部会員交流会」を開催。部会員等35名が参加した。会員間の交流を促進する目的で実施しており、新型コロナウイルス感染症の影響により今回は4年ぶりの開催となった。

交流会は知多酒で乾杯、初めての試みとしてCLACITY1階の「農家の嫁」が担当した知多半島食材に拘った料理を美味しくいただき大変好評だった。

終始賑やかな雰囲気の中で金融業や保険業など各業界の事業所同士でそれぞれの課題点について情報共有や今後の部会事業についての話し合いなど有意義なものとなった。

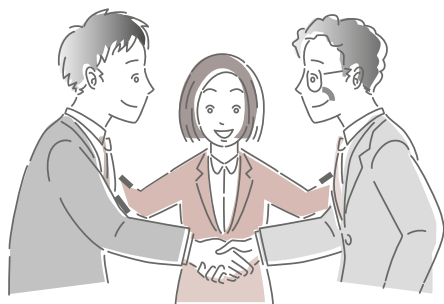
今後は、交流会等を通じて挙げた意見を、部会事業に反映をさせていく予定。



部会長／久富達也(知多信用金庫)

譲り渡したいお客さまと、譲り受けたいお客さまを引き合わせる

ご存知ですか？ 事業承継マッチング支援



事業承継マッチング支援とは？

日本政策金融公庫(国民生活事業)の事業承継マッチング支援は、後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や事業拡大等に向けて「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、マッチングサービスです。



事業承継マッチング支援 5つの特徴

2 事業を受け継いで
創業される方も対象

4 日本政策金融公庫の
専門担当者によるサポート

1 小規模事業者の方の
ご利用が中心

3 オープンネーム(実名)に
よる後継者探しも実施

5 譲渡希望・譲受希望
いずれの方も無料で
利用できるサービス

～ マル経融資制度が 50 周年を迎えました ～

小規模事業者経営改善資金(マル経融資)は、商工会議所・商工会等の経営指導を受けている小規模事業者が無担保・無保証人で利用できる融資制度として、昭和48(1973)年10月に創設されました。

全国の商工会議所・商工会の経営指導員と政府系金融機関である日本政策金融公庫(創設当時は国民金融公庫)の担当者が手を携えて、小規模事業者の資金繰りを支えてきました。これまでに約530万件の利用実績があります。

当所も日本政策金融公庫熱田支店とともに、地域商工業を担う小規模事業者の経営改善に必要な資金として、マル経融資がさらに多くの事業者の皆様へ届くよう努めてまいります。



無保証人

低金利

無担保

◆マル経融資制度の特徴

資金使途	運転資金	設備資金
融資限度額	2,000万円 ※1,500万円を超える場合は条件付	
ご返済期間(うち据置期間)	7年以内(1年以内)	10年以内(2年以内)
利率(固定)	年1.20% ※令和5年11月1日現在	
担保・保証人	不要 (信用保証協会の保証も不要です) ※ご利用にあたっては商工会議所会頭等の推薦が必要です。	





YAMAMOTO
MUSIC SHOP

♪ 音楽の楽しさ・感動・幸せを♪

株式
会社 **山本楽器**

半田市大和町1丁目30番地1

TEL (0569) 21-7828

中古ピアノセンター



併設

**わが家の
ホームドクター**
Tejima

住まいのリフォーム&
エネルギーショップ

プロパンガス 東邦ガス **ENEDO**
半田市上下水道指定工事店

手島ガス住設株式会社

☎ 0120-0569-07

<https://www.tejima.co.jp>



アクアマジックは安全で美味しい
ミネラルウォーターの宅配サービスです。
Bottled Water Delivery Service

アクアショップ愛知南

☎ 0120-032-141

おどろきのセラミック技術で、
未来を支えていく。

Surprising
Ceramics.



日本ガイシ



©NGK・kero/dwarf

地域とともに！
安心、信頼の にしん へ

 **西尾信用金庫**

<https://www.shinkin.co.jp/nishio/>

成岩支店 ☎ 24-6000

半田支店 ☎ 26-1188

亀崎支店 ☎ 28-6800



外国人技能実習生の受け入れを
検討されている企業様

提携:エーテン共同組合(小牧市)



ご連絡ください！



エンドワイズ協同組合
理事長 浅井信義

〒475-0925 半田市宮本町6-212-2
TEL(0569)26-0333 FAX(0569)22-8788
E-mail b-ten@sweet.ocn.ne.jp

KK 税理士法人 経世会

Keiseikai Licensed Tax Accountant Corporation

本社事務所：愛知県半田市栄町2丁目59-1

支社事務所：名古屋事務所・三河安城事務所・東京事務所

- 税務・会計顧問
- 相続税申告・相続対策
- 事業承継コンサルティング
- 医療・公益法人等対応
- 経理サポート

TEL : 0569-21-2145

<https://www.keiseikai.co.jp>

今までも、
これからも、
ずっと誠実



橋梁・鉄骨の設計、製作、施工

① 瀧上工業株式会社

The Takigami Steel Construction Co., Ltd.

〒475-0826 愛知県半田市神明町1丁目1番地

TEL (0569) 89-2101 FAX (0569) 89-2601

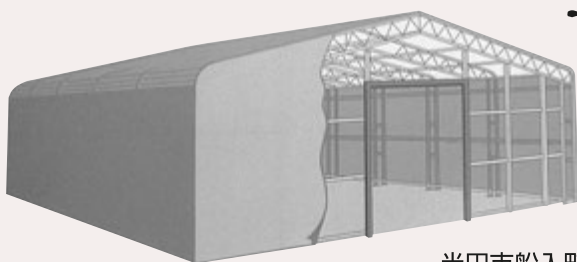


あなたの交通安全のために

半田自動車工業株式会社

半田市栄町2-72

TEL (0569) 21-3381
FAX (0569) 21-3380



寺田産業(株)

- ◆ テントハウス設計施工
- ◆ デザインテント設計施工
- ◆ 工場内ビニール間仕切り・ブース
- ◆ 自動車用ホロ・防水シート

半田市船入町10-1

TEL.0569-23-0725 FAX.0569-23-0728

環境保全のトータルサポーター



給排水衛生・消火・空調設備 設計・施工



株式会社 富士総合設備事務所

<https://www.fujisougo.co.jp>

本社 半田市平井町3丁目18番地の1
名古屋支店 名古屋市中区葵2丁目3番22号

☎ (0569) 27-7898

☎ (052) 939-1621

特定退職金共済制度のご案内 従業員の退職金を計画的に準備できます！

◆特色

- ・ 求人对策、従業員の意欲向上、定着化に役立ちます
- ・ この制度の掛金は全額損金または必要経費に参入できます
- ・ 掛金は、金融機関の口座から自動的に振替えますので便利です
- ・ 簡単な手続きで加入でき、毎月、ご加入、増額のお取扱いができます
- ・ 国の制度(中小企業退職金共済制度)との重複加入も認められています

◆契約できる事業主(共済契約者)

半田市内の地区内にある事業主(事業所)であればなたでも従業員を加入させることができます。

ただし、加入できる従業員は満15歳以上85歳未満に限りです。

◆加入するときは(任意包括加入)

この制度に加入するかしないかは、事業主の任意ですが、加入する場合には、全従業員を加入させなければいけません(任意包括加入)。また従業員の「加入同意」が必要となります。

〈下記の方は、加入できません〉

- ・ 事業主および個人事業主と生計を一にする親族
- ・ 法人役員(使用人兼務役員を除く)

〈下記の方は、加入させなくても差し支えありません〉

- ・ 期間を定めて雇われている方
- ・ 季節的な仕事のために雇われている方
- ・ 試用期間中の方
- ・ 非常勤の方
- ・ パートタイマーのように労働時間の特に短い方
- ・ 休職中の方

◆掛金

被共済者(加入従業員)1人につき1口1,000円で、最高30口まで加入出来ます。
全額事業主負担です。

◆給付金

退職給付金
遺族給付金
退職年金
解約手当金

被共済者(加入従業員)が退職したときにお支払いします。
被共済者(加入従業員)が死亡したときにお支払いします。
加入10年以上の退職者が希望する時、退職年金が10年間支払われます。
途中で共済契約を解約された場合でも、解約手当はその被共済者(加入従業員)にお支払いします。

お問い合わせ：当所福祉共済課 TEL.21-0311

業務課だより



会員事業所にダイレクトに情報を発信できる「チラシ同封サービス」を活用して、御社の販路拡大&事業所PRにお役立てください！！

～半田商工会議所「カイギショゲッポウ」チラシ同封サービス～

半田商工会議所の会報誌「カイギショゲッポウ」とともに、あなたのお店の商品やサービスの掲載チラシを、半田市内の事業所を中心に約2,600社にお届けします！

例えば

- 忘新年会・歓送迎会 ■各種イベント ■事務用品 ■営業車両 ■福利厚生関連 ■ハガキ印刷
- テナント募集 ■新製品情報など、事業所向けのPRが有効です！

【残部は会議所会館へ設置するので、継続的なPRが可能に！！】

■通常料金(1回あたり)
26,400円(うち税2,400円)

■【カイギショゲッポウ広告・展示ケース等利用事業所】
13,200円(うち税1,200円)

コスパ
よし!!

STEP
1

申込
発行月の前月5日まで

STEP
2

納品
発行月の前月15日まで

■お問い合わせ：当所業務課 TEL.21-0311



すしを活かした まちづくりの可能性

江戸時代に生まれた握りすしには半田のミツカンのお酢が使われていました。
200年以上経った今、握りすしは世界に広がり、ミツカンのお酢も半田を拠点に世界に広がっています。
そんなこのまちで、すしを活かした取り組みが広がっています。



回転鮎魚太郎で行われた「日本さばける塾」。
知多半島の海と半田のお酢を知って、魚をさばいて、
すしを握って、食べてみる企画を実施しました。



郷土寿司研究家・日比野光敏さんとミツカンお酢博士・
赤野裕文さんによるトークセッション。
この地域の郷土すしとその可能性について話しました。



11月に実施の「すし食べりんキャンペーン」。
ミツカンミュージアムを見学された方が、半田のすしを
食べてもらえるような仕掛けをしています



11月1日は「すしの日」。
ミツカンさん、魚太郎さんと共同で、ミツカン創業のお酢
「山吹」を使ったシャリで握りすしを作りました。



半田の郷土すしといえば、「箱すし」。
成岩で活動するサントーブルさん、半田商工会議所
女性会さんの協力を得て、この地域の特徴を探りました。



ミツカンミュージアムは12月14日からリニューアル工事に
入ります。オープンは来年3月15日。さらに魅力がアップす
るMIMと連携し、まちへの波及効果を図ります。

全国には「すし」を活かしたまちづくりをしている地域はたくさんあります。その中でも半田にしかできない歴史や背景をととても感じます。
これからもすしを活かしたチャレンジを後押ししていきたいと思います。

文責 半田市観光協会 事務局長 榊原宏

巻末コラム



自分の利益だけを考えるのではなく、お客様に満足してもらい、同時に、社会貢献もできるのがよい商売であるという、近江商人の心得を表したもの。

今年も早いもので、もう年末となりました。例年この時期に「今年の流行語」や「今年を表す漢字」が発表されます。後から振り返った時にその当時を鮮明に思い出すことができるよう、趣向を凝らして決めているであろうことは想像に難くありません。私が今年一年を振り返ってみると、「当所創立130周年」で明け暮れた毎日、後から鮮明に振り返ることができる年となりました。この号が出る頃には記念式典は終了していますが、当コラム執筆時と時差があるため、その感慨をすぐにお伝えできないのがもどかしいところです。同じその時差に悩まされたのが気候です。暑いと書けば当誌発刊時には涼しくなったり、寒くなってきたと書けば暑さがぶり返したりなど、それも今年の象徴だったかもしれません。

さて、個人的な今年のトピックとして、この年末に一齐に4つの医療機関にかかりました。歯科、眼科、内科、整形外科と自身の人生においてこのようなオンパレードは初めてです。私が20代の頃、「嫌になるくらい健康だ」という歌詞がある曲がヒットしましたが、私はその標本と自負するくらい健康そのものでした。歯科は定期健診での歯周病予防、眼科は視野範囲の低下、内科は健康診断で指摘された高血圧、言わば加齢に応じて受け入れる現実ですが、4つ目の整形外科は原因不明の腰痛。腰は「にくづき」に「要」と書くが如く体の要。腰痛が原因で体がうまく動かず、生活リズムの全てがスローペースに。病院では各所の手すりしながみ付きながら這いずり回りました。ただその時、ここに手すりがあったと我々に返ったのです。車に乗る時も普段使うことのない運転席上部の手すりに感謝し、なんとか乗り込むこともできました。逆にこれは邪魔だなと思う物もあったりで…。普段何気なく見過ごしている物が必要不可欠な物であり、阻害している物であり、いろいろ気付かされました。頭では分かっているが所詮それは仮想に過ぎず、実際に自身がその立場になって分かるもの。新たな年を前に良い教訓となりました。

前述の時差的なことを言えば、このコラムを腰痛に耐えて書いております。この号が発刊される頃には全快となっているよう、当誌のお届け時に皆様に暮れのご挨拶ができることを願いつつ。来たる年も良い年になりますように。

事務局長 森 啓貴



ご飯を食べながら酒を飲む幸せ

幼い頃から遊んだ祖父の家は、天明8年(1788年)から続く造り酒屋(伊東(資))でした。3人兄弟の長男だった僕は子どもの頃は跡を継ぐんだと何となく感じていましたが、名古屋に住み野球に熱中していたので、休業そして清酒製造免許を返上した時(2000年)もあまり現実味はありませんでした。そんな僕が今ここで酒造りをしているのは2014年、祖父(伊東基夫氏、当所10代会頭)の死がきっかけでした。

亡くなった際、通夜の日まで蠟燭の火が消えないよう交代で見守る風習がありますが、自分の番に祖父が眠る傍で冷蔵庫で14年間保管されていた「敷嶋」を飲み、その凛とした味わいに感動するとともに、200年以上酒造りをしてきた伊東家という家を考え始めました。代々、酒造りを通じて地域に影響力があつたことは地域の方々から聞いていましたが、実際には大人になって初めて感じました。ただ、酒造りを止めてからは、伊東家として地域に残るものが古い家屋しかない。そのため、まずはこの家を残したいと考えました。そして、酒を造るために家を建て、蔵を作ったのだから、まずは建物というハードありきのビジネスではなく、『酒造り』というソフトをビジネスの幹として成り立たせた上で、その他のコンテンツを枝のビジネスとして行い、建物を存続させるのが本筋ではないか、という考えに至りました。

4年後に脱サラし、他の酒蔵で修行した後、2021年12月から自社蔵で製造を開始し、翌年6月までにタンク15本の酒を製造。『敷嶋』を復活させ第一歩を踏み出しました。構想からの7年間は長かったような、アツという間だったような気がしています。清酒製造免許の取得、土地の買い戻し、設備の導入など、ゼロからの出発は考えていたより大変でしたが、多くの方に力添えをいただき、実現に至りました。地元亀崎での祭や祝いごと、親戚の集まりなどで「敷嶋を美味しく飲んだ」と言われる方も多く、その言葉が励みであり支えでした。始める前や開始当初は、将来の不安や期待など考える暇もなく時間に追われていました。一番不安なのは『今』と感じられるのは、少し余裕が生まれたという証拠でしょうか。製造は自分を含め5人程で行っていますが、経理、人事、プロモーション、営業と全て今は自分でやっています。全業務を理解したいという気持ちもあり、今は無理をしています(笑)。



伊東株式会社

伊東 優さん

■ 半田市亀崎町9-108-1 ■ TEL.29-1125

お酒にも様々な味がありますが、敷嶋は食中酒として飲んで頂きたいお酒です。僕自身、昔から外での飲み食いをしていましたが、その中で『食と酒のペアリングに感動する体験』に出会いました。おそらく、あの時感動した体験は一生覚えているでしょう。敷嶋もそういう場面にいてほしい。そして『ご飯を食べながら酒を飲む幸せ』という文化を創り、200年後に、食の傍にある定番酒となつてほしいと思っています。

醸造業が盛んなためか、この地域では旨味が濃厚な食べものが多いです。ずっとこの地域に住んでいらっしゃる方には意外かもしれませんが、アナゴ、ふぐ、貝などの干物は知多半島だけの文化です。このような旨味がギュッと濃縮された食をより膨らませるためには、旨味だけでなく、苦味や渋み、酸味も必要で、かつ味の骨格がしっかりとしたお酒が必要です。しっかりと骨格を保つには必然的にアルコール度数が高くなりますが、そのアルコール感がなく、美味しく飲めることが敷嶋の特徴だと思います。また、開封してから、4日目くらいから味がまろやかになり、1か月たっても美味しく飲めます。また、生酒や純米大吟醸も長く楽しめ、純米大吟醸は開封後、数か月経っても旨さの最大値を更新していきます。生酒はできれば冷蔵庫保管をおすすめしますが、是非その過程を楽しみながらお飲みください。

まずは敷嶋を復活することが目標でしたが、今後はいいお酒を造ることを前提として、この建物を残すために活かしていきたいと思っています。12月には蔵内にレストランがオープン予定です。更に来年1月は素敵な庭と共にカフェビストロが開始予定です。また、近々販売店も併設しますが、地域の皆様にはお酒は引き続き酒屋さんでお買い求めいただければ嬉しいです。

また、若い方々に「酒蔵が地元であり、その酒蔵の酒は美味しい」ことを知っていただきたくて、来年の『二十歳の集い』の日に(1月7日)『蔵シカルmarché』を開催します。沢山のハンドメイド作品や美味しいご飯、ワークショップが楽しめるイベントです。新20歳の方、そして晴れ着でお越しの方には1杯振る舞い酒がごぞいます。お酒が好きな方、素敵な商品や美味しいものと出会いたい方、ぜひお越しくださいませ。蔵に囲まれた特別な空間も必見です。また、4月20日には昨年に引き続き『亀崎酒蔵祭』を予定しています。これからもたくさんの仕掛けをしていきますので、皆様何卒よろしくお願いいたします。



登壇者募集中!

あなたの周りに輝いている方はいらっしゃいませんか! 男性・女性・自薦・他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。TEL.21-0311(広報チーム)



【はんしん本店】

第九回はんだ山車まつり



はんしんキャラクター
「だし太郎」



はんしんキャラクター
「まつりちゃん」



地域のくらしの応援団

半田信用金庫

<https://www.hanshin-ca.co.jp>

半田市御幸町8番地

本 部 (0569) 21-8211

本店営業部 (0569) 21-2411